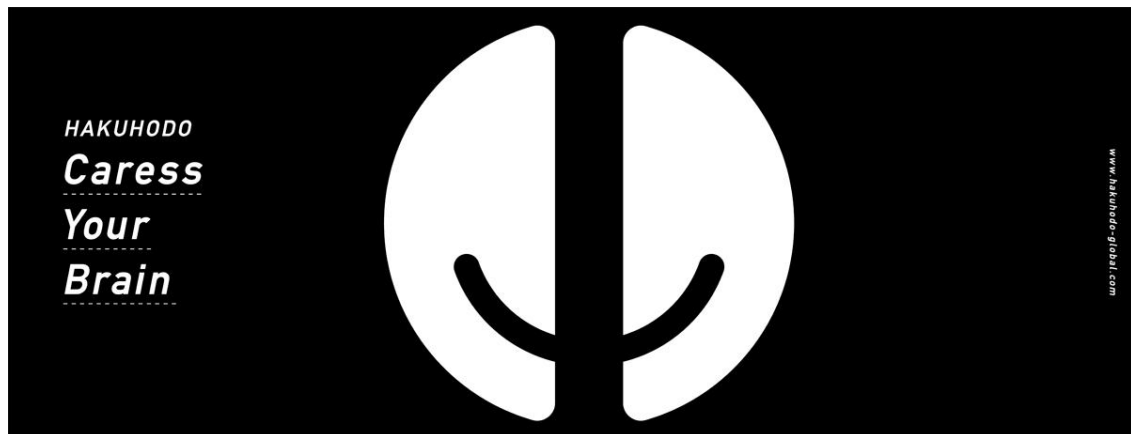




2018年2月22日

## 博報堂、「サウス・バイ・サウスウエスト・ トレード・ショー 2018」に自社ブースを出展 “CARESS YOUR BRAIN.”をテーマとしたプロダクトを発表

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島 正幸、以下博報堂）は、2018年3月11日～14日に米国・テキサス州オースティンで開催される、世界的なテクノロジー・スタートアップ・イベント、「サウス・バイ・サウスウエスト・トレード・ショー（South By Southwest Trade Show）2018」（以下、SXSW）に、自社ブースを出展いたしますのでお知らせします。



今年の博報堂ブースのテーマは、「**CARESS YOUR BRAIN.**」（脳をかわいがる。）です。

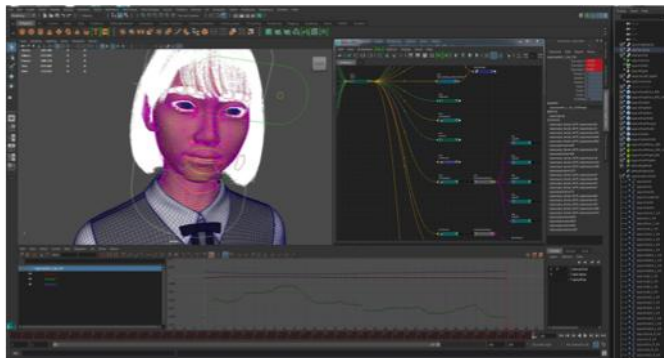
「人とテクノロジーの共生」が問われている昨今、博報堂は、これからのテクノロジーが備えるべき要素として「Humanity（最終目的は必ず人間の可能性や活動をひろげること）」、「Education（次世代の価値を拓くものであること）」、「Physical（五感など人間特有の身体性に訴えかけ、心揺さぶるものであること）」、という三つのキーワードを重視しています。今年度は、「脳をかわいがる。」、人の感覚や感情に優しく働きかけ、脳が嬉しくなるようなプロダクトを展示します。テクノロジー起点ではなく、「人」を起点として考える「生活者発想」をフィロソフィーとする博報堂が考える「人とテクノロジー」のあり方を世界に発信していきます。

人間らしい自然な動きを実現し、初めて「不気味の谷\*」を越えたと言われるCG女子高生『Saya virtual human project』、しっぽのついたクッション型セラピーロボット『Qoobo』など、博報堂が自社開発や共同開発したユニークなプロダクトを展示、実演いたします。

\*「不気味の谷」:ロボットやCGを、人間など実在するものに似せようとしたとき、ある段階で極端に不快に感じられる現象のこと。

## ■ 出展作品

### 『Saya Virtual Human』



#### ◆ 作品概要

『Saya Virtual Human』は、「初めて不気味の谷\*を超えた」と言われる 3DCG（3次元コンピューターグラフィックス）でできた女子高校生です。博報堂は今回の展示のためのインタラクティブ機能とエンターテインメント設計を担当しています。等身大の Saya（CG モデル【Saya Virtual Human】）は、前に立った人物の表情を Deep Learning（深層学習）でリアルタイムに解析を行い、体験者の感情を推定（表情認識 AI）。その推定した感情に応じて、本物の 17 歳の女子高生のようなインタラクティブな（日本人らしい）リアクションを返します。一例として、見つめられると恥じらって目をそらし、大きな動きをするとビックリし、笑顔を認識するとはにかんだように笑顔を見せてくれるといった様々な行動を、前後の文脈を加味し表現します。ユーザーの表情を認識するため、非言語でのコミュニケーションを可能としています。

人らしい動きや表情認識技術の特性を生かし、将来的には、ホームアシスタントとしての活用や、インバウンドに対応したマルチ言語対応のサイネージ事業、介護での見守りとしての活用なども視野に入れています。

\*「不気味の谷」:ロボットや CG を、人間など実在するものに似せようとしたとき、ある段階で極端に不快に感じられる現象のこと。

◆ 関連 URL : 日本語サイト <https://www.telyuka.com/>

### 『Qoobo』



#### ◆ 作品概要

「Qoobo」は、撫でると反応するしっぽのついたクッション型セラピーロボットです。ひとり暮らしやアレルギーなど、ペットを飼いたくても飼えない方々に、動物の癒やし効果を届けられないかという想いからユカイ工学が開発しました。開発サポートを博報堂のプロダクトイノベーションチーム monom が行っています。

癒やしや愛着など人間の感情を喚起するクッション、という新たな家具の形を提示していきます。

◆ 関連 URL : 日本語・英語サイト <http://qoobo.info>

## ■ 出展作品

### 『OMEDETO!』



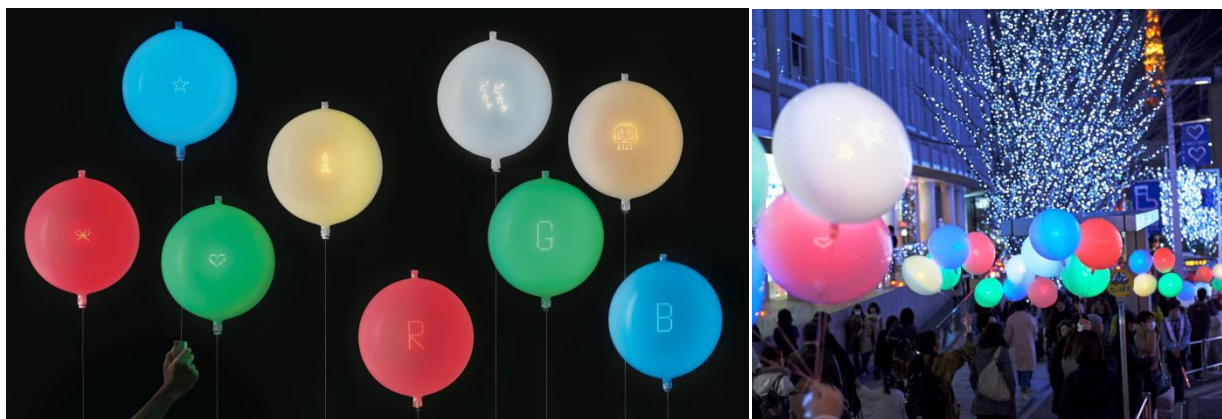
#### ◆ 作品概要

『OMEDETO!』は、SNS を通じて世界中からリアルタイムに自分宛てのお祝いや励ましが届く、クラウド型祝福サービスです。本サービスは、博報堂が企画・UI・システム開発を担当しています。

世界とのコミュニケーション障壁が低くなってきている現在、「OMEDETO!」は「Cheering Economy（「お祝い」というコミュニケーションにより、「幸せ」という感情を海を越えて人々の間でシェアすること）」を世界にローンチすることを目指しています。

◆ 関連 URL : 日本語サイト <http://omedeto.world/>

### 『FLOTICON BALLOON』



#### ◆ 作品概要

『FLOTICON BALLOON』は、光って文字や絵柄が浮かび上がる風船です。

風船の中に描きたい絵柄は自由に設定でき、2コマ漫画のように動かすことも可能です。

デザインシステムと、設計システムが整い、新しい「風船メディア」としての商品化を目指しています。

博報堂は、本作品の企画・デザイン・制作ディレクションを行っています。

◆ 関連 URL :

日本語サイト <https://www.youtube.com/watch?v=QBe1Bbwbqwg&feature=youtu.be>

## ■ 参考展示（映像のみ）

※実機は、The Hilton Austin Downtown Salon C, D, Eにて展示しています。

### SXSW Interactive Innovation Awards

### AI & MACHINE LEARNING 部門ファイナリスト

### 『eBALLution』



#### ◆ 作品概要

「eBALLution」は、球技をデジタルゲーム化することができるシステムで、株式会社アカツキ、株式会社博報堂、Ath-Tech Lab（データスタジアム株式会社/株式会社コンセプト）によって実現した次世代のスポーツの楽しみ方です。機械学習を用いた、画像認識技術と軌道予測技術を応用することにより、球体を使用していればあらゆるスポーツを民生品のカメラとプロジェクターと PC だけでデジタルゲーム化することが可能です。

第一弾のゲームとして制作された「PONG!PONG!」は、卓球型のブロック崩しゲームで、卓球台にプロジェクションされたブロックに、実際の球を当てて楽しめます。ブロックをたくさん破壊したプレイヤーが勝ちとなるルールで、スキルに合った遊び方が楽しめるステージセレクト機能に加え、選んだキャラクターによって誰でも一発逆転できる必殺技機能も搭載しています。

本作品は、「SXSW 2018」において、Interactive Innovation Awards の AI & MACHINE LEARNING 部門で、日本からのエントリーで唯一ファイナリストにノミネートされました。

#### ◆ 関連 URL :

日本語サイト <http://www.asobilabo.com/tq/pongpong/>

英語サイト <http://www.asobilabo.com/tq/pongpong/en/>

## ■参考展示（映像のみ）

『MR ミュージアム in 京都 ～風神雷神図屏風 × ホロレンズ～』

『MR Museum in KYOTO～Wind and Thunder Gods × HoloLens～』



### ◆作品概要

『MR ミュージアム in 京都 ～風神雷神図屏風 × ホロレンズ～』は、2018年2月21日に京都から世界に向けて完成記者発表し、体験会をおこなった「MR ミュージアム」構想の第1弾です。

国宝「風神雷神図屏風」をMicrosoft HoloLensを着用して、約10分の複合現実の中で鑑賞する体験ができます。シアトルの「Microsoft Mixed Reality Capture Studios」を日本のプロジェクトとして初めて利用し、3D撮影された僧侶がホログラムとなって屏風の前にあらわれ、俵屋宗達が入めた思いを解説します。また、体験者は雷や雨、緑豊かな大地、壮大な宇宙空間など作品にこめられた意図を空間表現として体験することができます。

マイクロソフトMR認定パートナーを取得した、博報堂・博報堂プロダクツ・wise inc. の3社が、hakuodo-VRARのプロジェクトとして制作しました。

### ◆関連 URL :

日本語サイト <https://hakuodo-VRAR.jp/kyoto2018/>

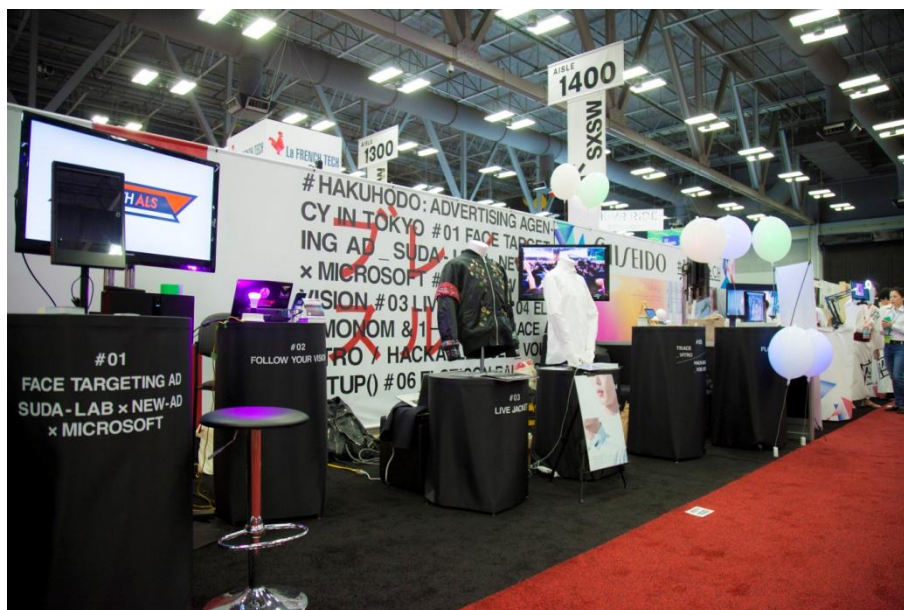
英語サイト <https://hakuodo-VRAR.jp/kyoto2018/en>

※ご紹介した作品以外も出展予定です。

## ■SXSW とは

SXSW は 1987 年にインディーズの音楽祭として始まり、後に Film と Interactive が加わり、現在は 10 日間で数万人を集める世界最大級のアートイベント・カンファレンスです。多くのビジネスノウハウが詰まったプロトタイプ型の商品サービス発表の場として近年注目されています。

※ご参考：SXSW2017 博報堂ブース出展



### 【本件に関するお問い合わせ】

博報堂広報室 江渡／PR 戦略局 長谷川 TEL 03-6441-6161

Mail : [koho.mail@hakuodo.co.jp](mailto:koho.mail@hakuodo.co.jp)